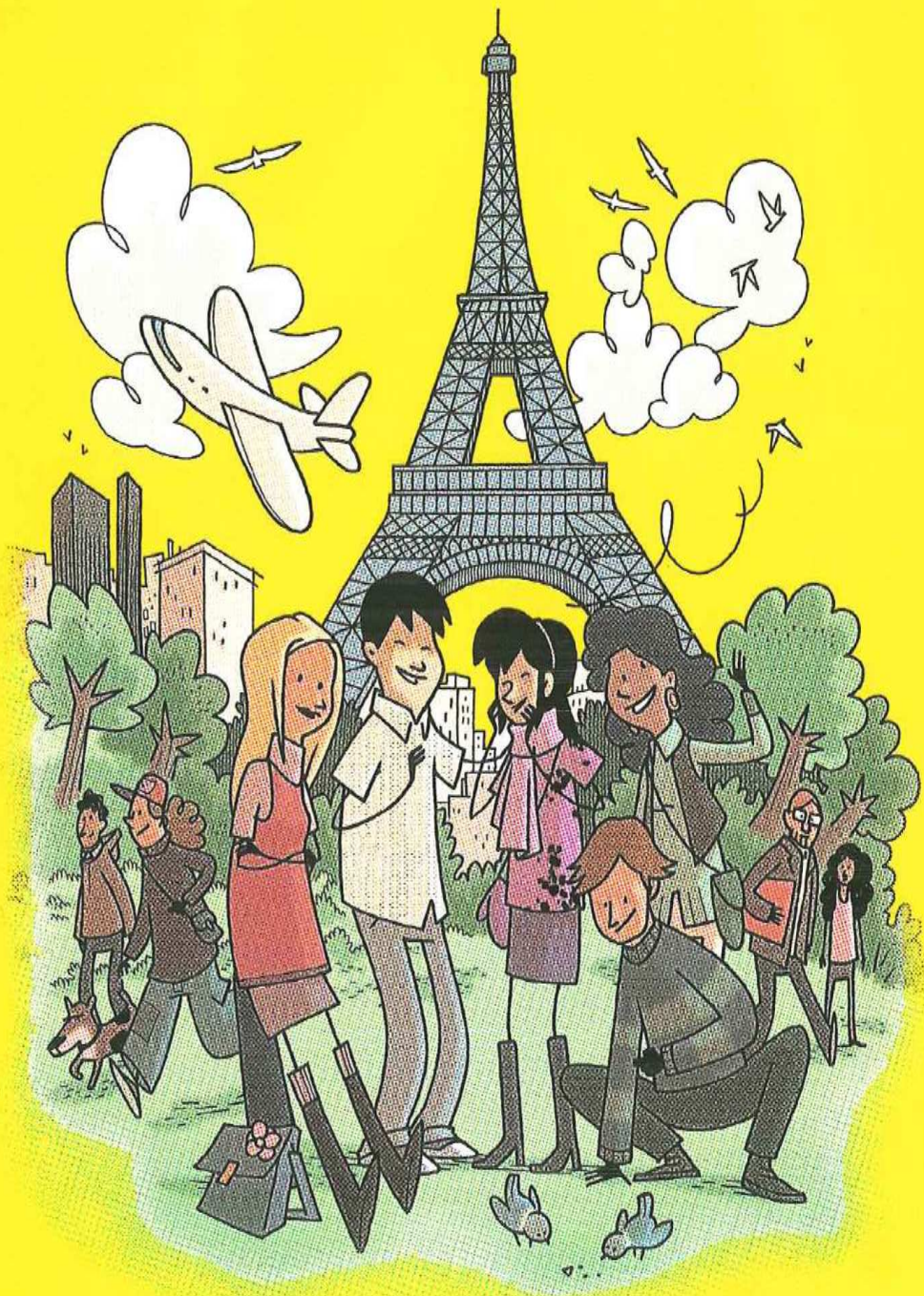


フランス語を学ぼう



フランス語への招待

日本フランス語教育学会(SJDF)会長 三浦信孝

日本の学校教育では英語が必修です。英語以外の言語を学べる高校は数が限られており、二つ目の外国語を学ぶのはふつう大学に入ってからです。しかし今日が多極化した国際社会では、英語だけでは足りません。市場経済のグローバル化による平準化・画一化に抗して、言語と文化の多様性を守らなければなりません。フランス語はそういうメッセージをもった言語です。

フランス語は欧州連合(EU)や国連諸機関の主な公用語の一つです。フランス語圏はアフリカをはじめ世界五大陸に広がっています。その意味で、1999年から10年間パリのユネスコ(UNESCO)の事務局長を務めた松浦晃一郎氏は英語・仏語とも堪能で、若い皆さんのいいお手本になります。国際協力機構(JICA)理事長の緒方貞子氏は国連高等難民弁務官だったジュネーブ時代に、寸暇を惜しんでフランス語を勉強されました。

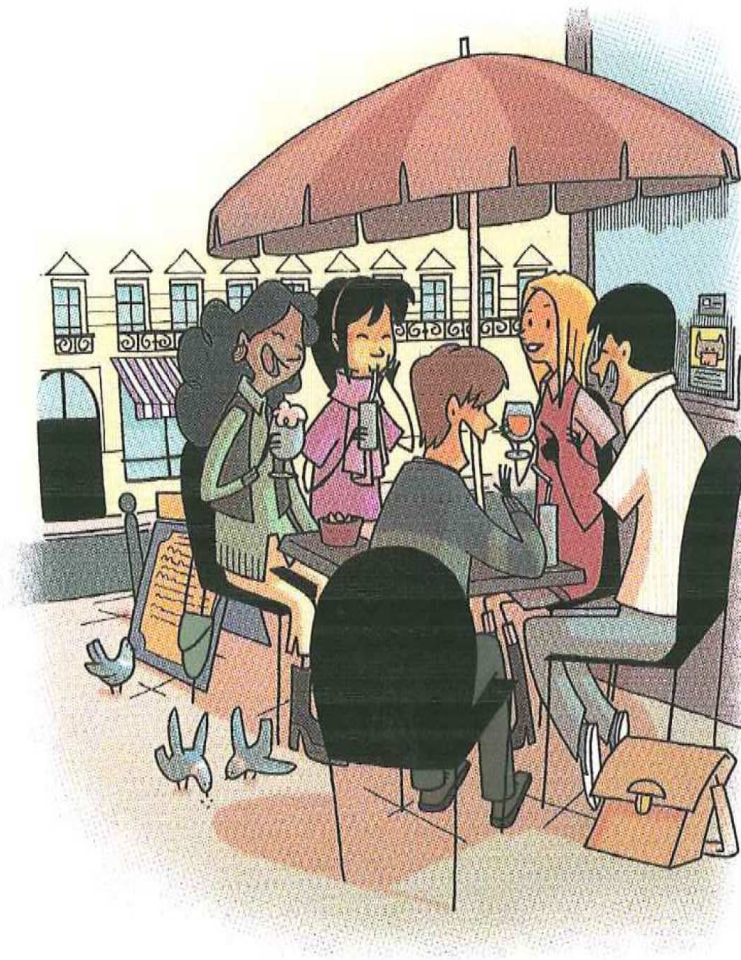
外国語学習の動機づけには、制度的要因、実的要因、文化的要因、知的要因がありますが、フランス語が他の言語と違うのは、文化的・知的誘因が勝っていることです。たとえば翻訳が10種類以上ある『星の王子さま』は、原文で読んでみたい気持ちにさせてくれますし、フランスの現代思想は日本の若い知識層を引きつけてやみません。金融資本主義が破綻したいま、人間中心の「古いヨーロッパ」の智慧が見直されています。自分の意見をもった「世界市民」になるには、フランス語の勉強がいちばんです。

Nobutaka Miura



目次

フランス語は今	PAGE4
今日のフランス	PAGE5
世界の中のフランス語	PAGE6
政治および文化への影響力	PAGE7
仕事におけるフランス語	PAGE8
日本でフランス語を勉強する	PAGE10
高校でのフランス語	PAGE11
大学で学ぶフランス語	PAGE13
在日フランス文化ネットワーク	PAGE18
フランス語の検定試験	PAGE20
フランスで学ぶ	PAGE24
フランスでの学習	PAGE25
高等教育機関	PAGE26
大学のシステム	PAGE27
フランス政府留学局日本支局	PAGE28
語学留学	PAGE29



フランス語は今

グローバル化の現代、フランス語を学ぶ理由はいろいろ考えられます。

コミュニケーション手段の発達により、豊かな文化を持つフランスはますます身近な存在になりました。地球上のいたるところでフランス語を目にし、耳にする機会が増えています。実際、フランス語はヨーロッパ・アフリカ・北米をはじめ、多様な世界への扉を開いてくれます。

今日のフランス

フランス語は、何といてもフランスで生まれ、主としてフランスの長い歴史のなかで培われた言語です。ですから、フランス語を選択し学習することは、とりもなおさず、オリジナリティ豊かなフランスの文化・文明に直接アクセスすることです。フランス語を通して、広大な世界が目の前に開けることでしょう。

人類共同の遺産

フランスといえば、すぐにパリが思い浮かびます。エッフェル塔、凱旋門、シャンゼリゼ、セーヌ河。多くの美術館、劇場、街のカフェ、パン屋やビストロ…。次に、地方に散在する数々の文化財も連想されるでしょう。ドイツスタイルを残すアルザス地方、南仏の風薫るプロヴァンス地方や、地中海沿岸のコートダジュール、ロワール河のお城、ロマネスクやゴシック様式の教会建築、世界遺産のうちでも特に名高いモンサンミシュルの修道院…。またフランスでは、洗練された料理、チーズやワインの数々、そしてパティスリーなど、世界に冠たる食文化を楽しむことができます。



文化

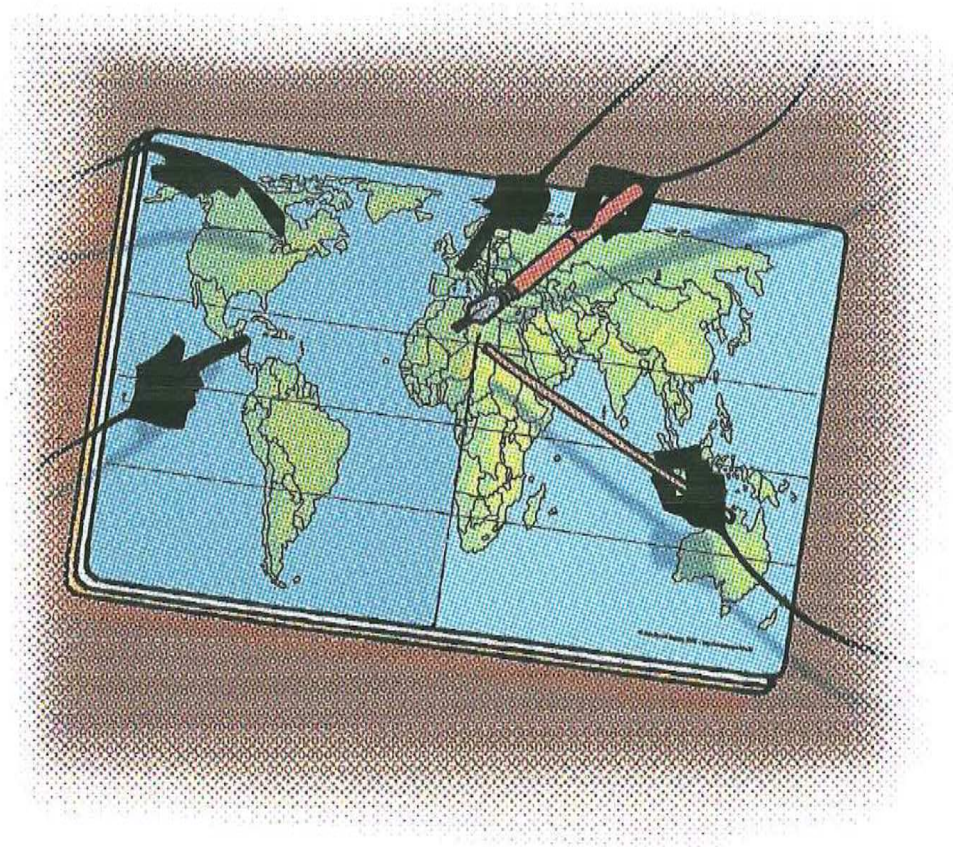
フランス語は思想や文学の言葉として知られています。18世紀啓蒙思想のヴォルテールやルソー、20世紀の小説家ではマルセル・ブルーストやサンテグジュペリ、第二次世界大戦後の哲学者ではサルトルやミシェル・フーコー…。フランス語はまた、モネやドガのような印象派の画家、ココ・シャネルやクリスチャン・ディオールのようなモードのクリエイター、ドビュッシーやサティのような音楽家の言葉であり、またフランソワ・トリュフォーの映画の言葉でもあります。フランス語を介して、あらゆる芸術や想像力の世界がみなさんの前に開けるでしょう。今度はあなたが映画「アメリ」の世界や、フランス人の実際の暮らしを追体験する番です。

夢、理想

フランス語は「人権」の言葉であることも付け加えておきます。19世紀の詩人ヴィクトル・ユゴーや作家エミール・ゾラは、信念をもって不正と闘いました。1789年の大革命の申し子であるフランス共和国は、自由と平等と友愛を謳っています。世界の交流地点として、あらゆる人種・民族が同じ理想の下に集う国だということを誇りにしているのです。国内政治から世界情勢まで、フランスではあらゆることが議論のテーマになります。今日もなお、フランスは平等で連帯感のある社会を思い描き、民主的討論の国であり続けています。

世界の中のフランス語

フランス語はフランス本土のみならず、国境や海を超え、五大陸にまたがる多様で広大な言語文化コミュニティを形成しています。29カ国で公用語になっており、フランス語を主要言語としている人は2億人近く、外国語として使っている人を含めれば3億9千万人にのぼります。



フランコフォニー国際組織 (OIF)

フランス語は、56の国・地域からなる政治的共同体でもあり、フランコフォニー国際組織を中心に、たがいの文化・言語と人権を尊重するという理念を共有しています。1970年に創立されたフランコフォニー国際組織は「フランス語の奨励推進、平和、及び持続的発展」のために活動しています。

政治および文化への影響力

フランス語は、経済・文化・教育・スポーツ・人道活動など、あらゆる分野で全世界的な価値を伝える国際語です。

国際機関

- 🇪🇺 EU (欧州連合)
- 🇺🇳 UNESCO(国連教育科学文化機関)
- 🇳🇦 NATO(北大西洋条約機構)
- 🇨🇪 OECD(経済協力開発機構)
- 🏅 IOC (国際オリンピック委員会)
- 🏈 FIFA(国際サッカー連盟)

人道救援組織

- 👨‍⚕️ 「国境なき医師団」
- 👨‍⚕️ 「世界の医療団」
- 👨‍⚕️ 「Action contre la Faim: 飢餓に対する行動」
- 👨‍⚕️ 「国際赤十字」

メディア

フランス語は、インターネット上で使われている言語のうち、第3番目の位置を占めています。また世界におけるフランス語圏の出版・報道機関は600以上あります。フランス語を用いるテレビ・ラジオは、毎日何百万人もの人々に視聴されています。TV5という203カ所以上の国と地域をカバーしているテレビ・チャンネルは、ここ日本においても、日本語字幕付きの特別プログラムを提供しています。

国内・地域放送

- 📺 France Télévisions
フランス国営放送
- 📺 RFO
フランス海外圏テレビネットワーク
- 📺/📻 RTBF
ベルギー・フランス語圏ラジオ・テレビ局
- 📺 Télé-Québec
テレケベック(カナダ・ケベック州テレビ放送)
- 📺 TSR
テレビ・スイス・ロマンド(フランス語圏スイスのテレビ局)

国際放送

- 📺 TV5 MONDE
フランス語圏トップ・チャンネル
- 📺 France 24
国際情報チャンネル
- 📻 RFI
ラジオ・フランス・インターナショナル
- 📻 Africa N°1
全アフリカのトップ・ラジオ放送

仕事におけるフランス語

フランス語が話せることは、日本やフランスで仕事を見つける上でプラス・アルファになります。

フランスと日本の関係

今日では400社を超える日本企業がフランスに進出、600以上の拠点で6万人にのぼる人材を雇用しています。一方、約400社のフランス企業も日本市場に進出しています。フランスは、美食と、アール・ド・ヴィーヴル（生活を楽しむ術）だけの国ではありません。約5億人の消費者を抱える欧州の中心に位置する、世界第5位の経済大国でもあるのです。2009年のデータでは、外国への直接投資においてアメリカ、中国に次いで世界第3位にランクされています¹。こうしたことから、フランスに進出している日本企業で働くにあたって、フランス語圏での勤務の場合はもちろん、日本国内の本社勤務であっても、フランス語の能力が期待されるのです。



フランスに進出している主な日本企業

トヨタ、カシオ、ソニー、資生堂、バンダイ、コニカ=ミノルタ、キャノン、三菱、無印良品、パイロット・コーポレーション、住友、ユニクロなどのほか、金融・商社・報道各社

日本に進出している主なフランス企業

ダノン、タレス(航空宇宙産業)、アクサ(保険)、アニエス・ベー(アパレル)、プレス・ブルー(チーズ)、シャネル、デカスロン(スポーツ用品)、アレヴァ(原子力)、モエ・エ・シャンドン(シャンパン)、ルイ・ヴィトン、ミシュラン、セブ=ティファール(調理器具)、ロレアル(化粧品)、サン・ゴバン(ガラス)、トタル(石油)など

世界/フランス語圏と日本との関係

フランス語を使う仕事は、北米では国際都市モントリオールを擁するカナダのケベック州に、ヨーロッパではルクセンブルク、ブリュッセル、ジュネーヴなど欧州フランス語圏の主要都市における活発な経済活動の中にも見出すことができます。日本政府、JICA（国際協力機構）、CIEE（国際教育交換協議会）、国際交流基金などが進めているマグレブ（モロッコ、アルジェリア、チュニジア）やアフリカ諸国との関係作りの中にも、新たな共同事業が期待できます。

1. 国連貿易開発会議（UNCTAD）2009年データ



LE CORDON BLEU®

ACADEMIE D'ART CULINAIRE DE PARIS • 1895

www.cordonbleu.co.jp



La France, à l'origine de la restauration et de l'hôtellerie moderne

フランスは歴史的遺産を引き継ぎつつ、常に進化し続けることに長けた国であり、

それゆえ、現代のガストロノミー、ホテル業、レストラン業の礎を作りました。

「高級料理」を王族や貴族たちが宮廷でしか味わうことのできなかった数百年を経て、

フランス革命はシェフによる民衆のための初めてのレストランを開店させるに至りました。

オーギュスト・エスコフィエとセザール・リッツにより19世紀末には、料理人とホテル業は、

独自の規範と技術の体系を持つひとつの職業となりました。

このアプローチは今日でも、現代のガストロノミーとホテル業の根幹を成しています。

フランスはこの価値と能力を継承し、現在も、文化と技術の分野での教育のリーダーであり続けています。



フランス料理、菓子、パンの教育における国際的リーダーであるル・コルドン・ブルーは、世界15ヶ国以上37校で、国際的に著名な講師陣が、ガストロノミー、ソムリエ、ホテルサービスとマネジメントなどの分野でのディプロマ取得のための専門的な教育を行っています。日本では1991年以來、東京・代官山と関西・神戸に2つの学校があります。

開講講座一覧

フランス料理・菓子・パン講座、ワイン・チーズ講座、
フランス美食文化・言語ディプロマ取得講座、レストランマネジメント講座

Paris • Tokyo • Kobe

代官山校 ☎0120-454840 神戸校 ☎0120-138221





日本でフランス語を勉強する

高校や大学、あるいは語学学校など、フランス語はさまざまところで勉強
できます。フランス語ネイティブの先生たちも上達を助けてくれるでしょう。
階段をひとつ上るたびに、新しい文化の扉が開きます。フランス語を選べば
きっと人生が変わります。

高校でのフランス語

全国の約400の高校で、フランス語を学ぶことができます。フランスとの交換留学制度のある高校の場合、ホームステイでフランス人家庭の暮らしを体験することもできます。高校生のうちにフランス語を始めれば、ある程度の基礎を作った上で卒業できます。語学一般に関する知識も豊かになり、新しい生き方や考え方に関心が広がるに違いありません。

私たちは高校で楽しくフランス語を学んでいます。



西日本スケッチ暗唱コンクールに参加しました。



フランス語フェスティバルでモリエールの劇に挑戦しました。



フランス語夏合宿でフランス人講師の先生と勉強しました。



コリブリ（日仏高等学校ネットワーク）交換留学で来日したフランスの高校生たちと、成田空港でお別れの記念写真を撮りました。





先輩たちから、フランス語を学ぶ高校生へのメッセージ



F.S.

上智大学文学部
仏文学科2年

「高校で始めたフランス語は、パリの高校への短期留学、仏検2級取得など、多くのものを私にもたらしました。大学での充実した日々も高校3年間の賜物と感じます」



S.N.

関西学院大学
商学部2年生

「高校でフランス語を始めたおかげで大学でも躓きがなく、勉強がますます楽しくなってきました！ 就職先の選択肢にも自然とフランス系企業が入り、将来の可能性も広がりました」



K.M.

京都外国語大学
フランス語科2年

「高校で初めてフランス語を話した時の嬉しさが、今もフランス語を続ける私の支えになっています。あの時の経験は私にとって大きな一歩になりました」



N.M.

一橋大学
法学部2年

「高校で何気なく始めたフランス語ですが、今では世界と自らを繋いでくれるかけがえのないものです。もっと多くの人にこの世界との架け橋を持ってもらいたいです」



S.H.

中央大学文学部
現在 Aix-Marseille
第1大学 LEA1年留学中

「夢であったフランス大学進学、決して簡単な道ではないが中高時代の日々の努力、頑張れば結果がついてくるとい留学時代の経験のおかげで今とても充実した生活を送っています」



H.O.

平成21年度上智大学
大学法学部卒
司法試験合格後、現在司法修習生

「大学では司法試験を目指す一方、法学にはフランス語の知識が役立つと思い、高校で履修したフランス語を続けました。法曹界でもフランス語を生かしているよう頑張ります」

大学で学ぶフランス語

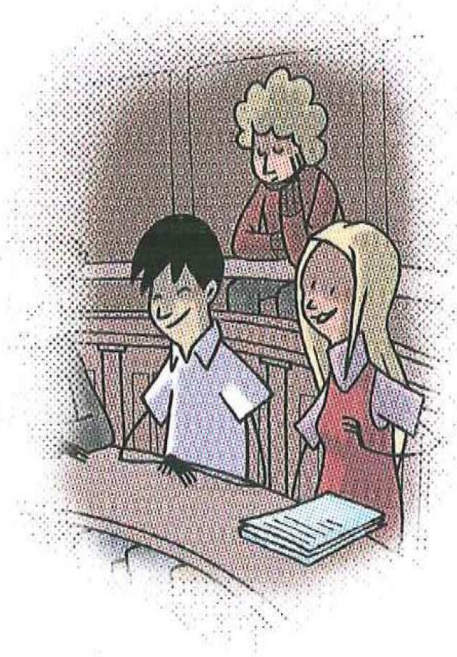
国内の大学でフランス語学習

フランス語の学習は、単なる語学の習得にとどまらず、日本語や英語とも異なる考え方を学び、また社会人として仕事をするための基盤を作るきっかけにもなります。

大学は、このような、言語の文化的奥深さを知る機会を与えてくれます。ますます一元化して行きかねない世界にあって、フランス語は日本でも、また世界においても、豊かな教養を約束してくれる言語です。

1. 初習外国語としてのフランス語

どんな専攻に進むにせよ、ほとんどの大学では英語以外の外国語を必修科目または卒業に必要な単位を充足する選択科目としています。フランス語は、ドイツ語、中国語、スペイン語などとともに、多くの大学で初習外国語の授業として初級と中級レベルが開設されています。



2. 専門としてのフランス語

大学でフランス語やフランス文学、あるいはフランス語圏の文化について専門的に学びたい人には、文学部や外国語学部のフランス文学科やフランス語科をお勧めします。専門課程では深く体系的に学ぶことができ、何よりも学習時間が圧倒的に多いので、卒業時にはかなりのレベルに到達することができます。

なお、社会科学系の学部でたいへん充実したフランス語教育をおこなっている大学もあることを申し添えておきます。

3. 副専攻としてのフランス語

副専攻という制度はすべての大学・学部にあるわけではありませんが、近年その数は増えつつあります。専攻は別にあるけれど、フランス語やフランス文化への興味も捨てがたい、という人にお勧めします。専攻の学士号だけでなく、副専攻としてフランス語を学習したことが履歴書上で明記されるというメリットもあります。

交換留学制度

現在、多くの日本の大学は世界中のさまざまな国の大学と交流協定を結んでいます。そのなかには、フランスはもちろん、フランス語圏の地域の大学も含まれています。この制度を利用すると、留学も含めて4年間で大学を卒業できるなど、個人留学よりもずっと有利にフランスやフランス語圏の大学で学ぶことができます。

フランス語を学んで

活躍中の先輩たちからのメッセージ



廣瀬 充重

(大阪ユビフランス勤務)

私がフランス語を学ぶようになったのは「フランス語は世界で最も美しい言語である」という、しばしば耳にする言葉が真実かどうかを自分で確かめるためでした。大学の恩師はこの点を説明するため、リヴァロルの「明晰ならざるものフランス語にあらず」を引用したものです。現在、フランス語は私の仕事および私生活において理解し、思考し、表現するためのツールとなりました。それはまた、私たちが日本語で考えている内容を明確にするという働きもあわせ持っています。

今日、私は在日フランス大使館企業振興部一ユビフランス大阪事務所の貿易担当官として、工業・ICT・サービス産業を担当しています。日仏貿易の先頭に立ち、日本進出を目指すフランス企業に対して多くの来日ミッションを企画しています。大学での学びを通じて獲得したこのツールが日々の業務において不可欠なものとなっていることは言うまでもありません。



長谷川 桃子

(名古屋市役所勤務)

公共機関で国際関係の責任ある仕事に就くことをめざし、フランス語を学び始めました。慶應義塾大学法学部でフランス語インテンシブコースを履修し、大学卒業後、パリ大学博士号取得という夢の実現のため渡仏しました。まずパリ第2大学入学のための語学試験に合格し、その後DEA（現在の修士号に相当）も取得し、同大学法学部政治学科博士課程に進学を果たしました。その博士課程1年目にフランス政府給費留学生選抜試験に合格し、また名古屋市行政職試験にも合格し、今は同市のため働いています。

現在私には2つの目標があります。

- 名古屋市とフランスの都市との姉妹都市締結
- 博士論文の日本での出版



川上 健太
(NHK勤務)

フランス語は大学で学習していて興味を持ってはいましたが、英文科所属でしたから、フランス語は専門ではありませんでした。本格的な出会いは、NHK入局後、フランス語圏向けの国際放送（ラジオ日本）を担当するようになってからのことです。日本のできごとや文化をフランス語で伝えるラジオ放送です。

最初は自分のフランス語は全く使い物になりませんでした。そのため、毎日フランス語の文章を読み、フランス人と話しながら、必死の思いで身につけました。それでも、フランス語を使って取材したり、フランス語で原稿を書いたりできるようになるまで、3年ほどかかったと思います。

昨年からは、フランス語学習者向けのテレビとラジオの講座番組を担当しています。より多くの方に、フランス語やフランス文化について知ってもらうという仕事にやりがいを感じています。



横山 義志
(静岡県舞台芸術センター文芸部勤務)

いわば偶然の選択だったのですが、理由はとても具体的でした。大学に入ったとき、ぼくは生物学をやっていました。履修する外国語にフランス語を選べば、一番女の子の多いクラスに入れると聞きました。迷う理由はありませんでした。

それから気が変わって、演劇を専門にすることにしました。ここでは言語の選択が決定的な役割を果たしたようです。あまり競争が激しそうではなかったフランス演劇を選び、進学のため、23歳のときフランスに旅立ちました。そこでやがて結婚することとなるフランス人女性に出会い、やがて自分を雇ってくれることになる演出家に出会いました。今にして思えば、フランス語を勉強していたおかげで妻と学位と仕事を手に入れた、というわけです。





在日フランス文化ネットワーク

フランスへ行く、フランス語を使って仕事をする、あるいはフランス文化をもっと知りたい。そんなあなたを受け入れてくれる多くの公立・私立の教育機関があります。主な機関をここに紹介します。

日仏学院・日仏学館

日本には、フランス政府が所管するフランス語教育機関が4つ—東京日仏学院、横浜日仏学院、関西日仏学館、九州日仏学館—があります。これらの機関は、有資格の教員・講師陣を擁して初級から上級までのフランス語を教える学校であるのみならず、充実した図書室とホールを備えた文化の発信基地でもあり、多くの文化イベントを行なっています。

アリアンス・フランセーズ

世界130カ国以上、1000以上の都市に展開するフランス政府公認の非営利団体アリアンス・フランセーズの学校が、札幌・仙台・名古屋・大阪・徳島にあります。大阪のアリアンス・フランセーズは、正式名称を「大阪日仏センター＝アリアンス・フランセーズ」といいます。

アテネ・フランセ

長いフランス語教育の伝統を誇るアテネ・フランセは、フランス語の講座や文化イベントに加え、英語の講座やさらにラテン語・古典ギリシア語の講座も実施しています。学校内にあるアテネ・フランセ文化センターは、年間300本におよぶ世界各国の映画やビデオ作品を上映しています。また、施設内には図書館・書店・カフェも備わっています。

日仏会館

人文科学系の蔵書が充実した図書室を備え、多くの講演会やシンポジウムを開催し、計27もの日仏関連学会と協力している日仏会館は、日本におけるフランスの思想と学問のショーウインドウです。毎年、日仏学生フォーラムやフランス語コンクールも組織しています。また、フランスレストランも併設されています。





札幌
札幌アリアンス・フランセーズ
 Alliance française de Sapporo
 〒060-0062
 札幌市中央区南2条西5丁目10-2
 南2西5ビル2階
 Tel: (011) 261-2771 Fax: (011) 261-1507
 e-mail: bureau@afsapporo.jp
<http://www.afsapporo.jp/ja>

名古屋
アリアンス・フランセーズ愛知フランス協会
 Alliance française Association France Aichi
 〒464-0819
 名古屋市千種区四ッ谷通リ2-13
 ルーツストーンファーストビル3階
 Tel: (052) 781-2822 Fax: (052) 782-4971
 e-mail: afmagoya@afafa.jp
<http://www.afafa.jp>

大阪
大阪日仏センター
アリアンス・フランセーズ
 Centre franco-japonais
 Alliance française d'Osaka
 〒530-0041
 大阪市北区天神橋2-2-11 今村ビル9階
 Tel: (06) 6358-7391 Fax: (06) 6358-7393
 e-mail: info@calosa.com
<http://www.calosa.com>

京都
関西日仏学館
 Institut franco-japonais du Kansai
 〒606-8301
 京都市左京区吉田泉殿町8
 Tel: (075) 761-2105 Fax: (075) 761-2106
 e-mail: info@ifjk.jp
<http://www.ifjk.jp>

福岡
九州日仏学館
 Institut franco-japonais du Kyushu
 〒810-0041
 福岡市中央区大名2-12-6
 Tel: (092) 712-0904 Fax: (092) 712-0916
 e-mail: info@ifj-kyushu.org
<http://www.ifj-kyushu.org/jp>

徳島
アリアンス・フランセーズ徳島
 Alliance française de Tokushima
 〒770-0852
 徳島市徳島町2丁目59 仁田ビル2F
 Tel: (088) 655-8585 Fax: (088) 655-8822
 e-mail: aftokushima@hotmail.com
<http://www.afj-tokushima.com/>

仙台
仙台日仏協会アリアンス・フランセーズ
 Alliance française de Sendai
 〒980-0014
 仙台市青葉区本町2-8-10 4,5階
 Tel: (022) 225-1475 Fax: (022) 225-1407
 e-mail: contact@alliancefrancaise-sendai.org
<http://www.alliancefrancaise-sendai.org>

東京
東京日仏学院
 Institut franco-japonais de Tokyo
 〒162-8415
 新宿区市谷船河原町15
 Tel: (03) 5206-7500 Fax: (03) 5206-2501
 e-mail: tokyo@institut.jp
<http://www.institut.jp>

アテネ・フランセ
 Athénée français
 〒101-0062
 千代田区神田駿河台2-11
 Tel: (03) 3291-3391 Fax: (03) 3291-3392
 e-mail: info@athenee.jp
<http://www.athenee.jp>

日仏会館
 Maison franco-japonaise
 〒150-0013
 渋谷区裏辻寿 3-9-25
 財団法人日仏会館
 Tel: (03) 5424-1141 Fax: (03) 5424-1200
 e-mail: bjmj@mftokyo.or.jp
<http://www.mftokyo.or.jp/>
 日仏会館フランス事務所
 Tel: (03) 5421-7641 Fax: (03) 5421-7651
 e-mail: info@mifj.gr.jp
<http://www.mifj.gr.jp>

横浜
横浜日仏学院
 Institut franco-japonais à Yokohama
 〒231-0015
 横浜市中区尾上町5-76
 明治屋尾上町ビル7階
 Tel: (045) 201-1514 Fax: (045) 201-7660
 e-mail: yokohama@institut.jp
<http://www.institut.jp>

L 日仏学院
 ■東京 ■横浜

関西日仏学館
 ■京都

IJI 九州日仏学館
 ■福岡

MFJ 日仏会館
 ■東京

af アリアンス・フランセーズ
 ■札幌 ■仙台
 ■名古屋 ■大阪

フランス語の検定試験

フランス語認定試験免状は、みなさんのフランス語学習に生涯寄り添い、語学レベルを客観的に保証します。たとえば、会社・大学・公的機関に対して、自分の語学力を証明することができます。また、免状を取ることで、いま自分の語学力がどのレベルにあるかが明確に分かり、次のレベルへと進む意欲も湧いてくることでしょう。

二つのフランス語技能検定試験

仏検とDELF/DALFは2つの異なる免状ですが、相互に補い合い、最終的にフランス語のより深い知識とスキルを身につけることを助けます。

◆ 実用フランス語技能検定試験（仏検）

文部科学省およびフランス大使館文化部の後援を受け、日本全国で広く認知されている仏検は、日本の高校や大学で行われているフランス語教育の内容にそった一般的なフランス語の知識を測定することを目的としています。初・中級レベルでは、一次試験のみで、筆記試験はマークシート方式、一部が記述式となっており、基本的な文法や語彙、表現が問われます。中・上級レベルでは、一次試験に加えて二次試験も課されます。一次の筆記試験に合格した受験者は、二次の面接試験へと進み、二次試験の結果により最終的な合否が判定されます。仏検は日本全国40都市およびパリで実施されており、受験者は最寄りの会場で受験することができます。

仏検は、1級・準1級・2級・準2級・3級・4級・5級の7段階に分かれています。

なぜ仏検を受けるのですか？

- ・フランス語で書かれた文章（文学・エッセー・翻訳など）の読解力を深める。
- ・日本の学習文化に適しており、日本語の支えのもとで学習できる。
- ・日本の大学において学習レベルの認定を受けられる。多くの大学で仏検は語学単位の一部として認定され、入学試験の語学選択肢の一つにもなっている。

◆ DELF/DALFフランス語資格試験

DELF/DALFはフランス教育省認定免状で、世界中に普及しており、ヨーロッパ共通参照レベル¹に基づいています。手紙を書く、買い物をする、旅行する等、生活の実際の場面におけるフランス語コミュニケーション能力が、読解・聞き取り・文章表現・口頭表現の4つの試験で評価されます。福岡・京都・名古屋・大阪・札幌・仙台・東京・横浜にある、在日フランス大使館のフランス文化ネットワーク内の8つの試験センターで試験を実施しています。

DELF/DALFには、A1・A2・B1・B2・C1・C2の6段階があります。

1. CECR (Cadre Européen commun de référence ; ヨーロッパ共通参照枠)

なぜDELF/DALFを受けるのですか？

- ・フランス語を使う具体的な場面に身をおくことによって、実際の文脈をふまえたフランス語でのコミュニケーションの訓練をする
- ・日本語に依拠せずにフランス語で学習する
- ・留学・仕事・観光で、フランス語圏の地域に滞在する準備をする
- ・自分のフランス語レベルがフランスの大学で認定される
- ・DELF B1・B2によって、大学での第1学年、第2学年レベルに対応するフランス語能力を証明できる。DALF C1はマスター（修士）課程で必要とされる。

受験するだけでレベルがわかる：

TCF フランス語能力テスト

仏検、DELF/DALFとは別に、一回の受験でフランス語のレベルを客観的に評価するテストがあります。TCFは、英語のTOEICに相当するフランス語試験です。不合格はありません。学習レベルにかかわらず受験できます。

マークシート方式の3種類の必須試験（聞き取り・文法・読解）と補足試験（筆記表現および口頭表現）からなり、それぞれ6段階で評価されます。成績証明書の有効期間は2年です。フランス語が必要となるフランスやその他の国での就職先などに対し、フランス語能力の正確なレベルを証明できます。

現在、在日フランス文化ネットワークに所属する大半の機関で受験できるだけでなく、日本国内の大学でも実施しているところがあります。



お問い合わせ

仏検（フランス語教育振興協会）：<http://www.apefdapf.org>

DELF/DALF：<http://www.delfdalf.jp>



TV5MONDEの番組とサイトでフランス語を学ぼう

www.apprendre.tv

- 自主学习に適した使いやすいサイト
- 楽しく、意欲的に学習するための様々な教材
- ビデオ教材やインタラクティブ練習問題(解答付き)が満載
- 辞書や翻訳機能、字幕付きビデオなど、便利な学習支援ツールも充実
- 日本人学習者向けに作られた教材

フランス語国際放送局

TV5MONDE

詳細は、今すぐアクセス！ www.tv5monde.com/japon

お問い合わせ : tv5japon@nifty.com

TV5MONDEは、何歳からでも、どんなレベルでも始められるすぐれたフランス語教材です。

www.apprendre.tv

フランス語を始める (初心者向け)

TV5MONDEのプルミエ・クラス(初めてのフランス語)

自主学习のための多言語対応サイト。6つのテーマ(挨拶、レジャー、食事、住まい、仕事、健康)にそってフランス語を学びます。文法、語彙、発音からフランス文化まで、フランス語を知る第一歩に。

2010年後半には日本語バージョンも始まる予定です。



フランス語力を高める (初級から上級まで)

テーマ別コレクション

食・演劇・フランス語・歴史など、テーマ別に14の教材集をご用意。ビデオ(トランスクリプション付き)を使った練習問題など。聞き取り力の強化、語彙の充実、文法の復習に。



世界の1週間

国際ニュースを通してフランス語を学ぶ番組(フランス国内のニュースもあり)。毎週土曜日の午前中に放送され(フランス語字幕付き)、サイト上で2週間視聴できるようになっています。毎回、解説・解答のついた練習問題も出され、フランス語学習に効果的です。



TV5MONDEの日本サイト:www.tv5monde.com/japon

TV5MONDE日本サイトで視聴できるビデオを使った教材。フランスのファッション、グルメ、インテリア、ホテルや城館を楽しみながら、また環境や政治、経済の知識を広げながら、フランス語を学ぶことができます。



フランス語力を試す (全レベル)

TCF

CIEP(国際教育研究センター)作成の教材を使ったフランス語学カテスト(TCF)準備のためのサイトです。練習問題、模擬試験、合格へ向けてのアドバイスなど。

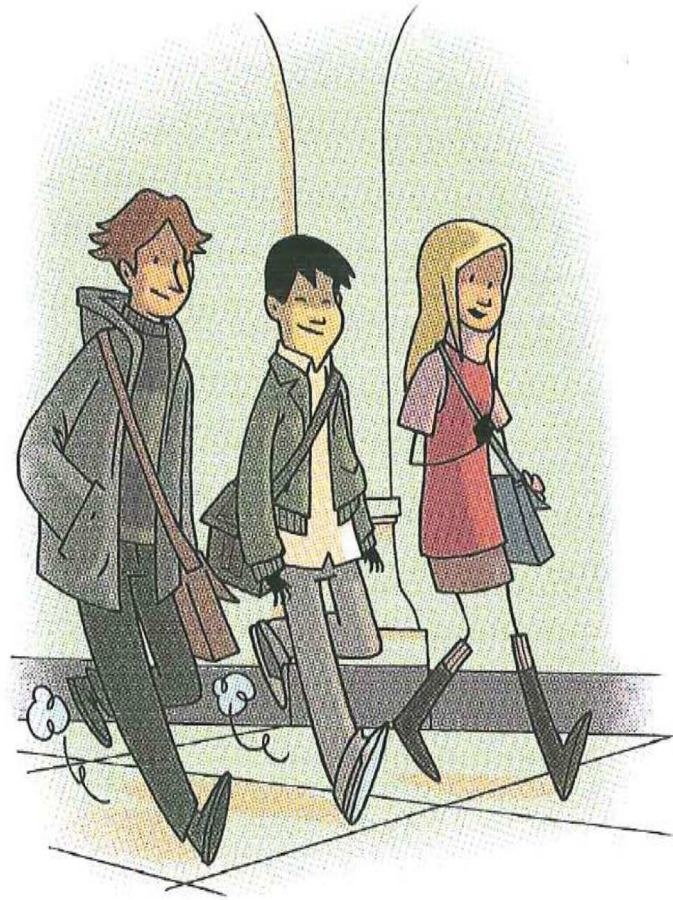
TV5MONDEの教材は、DELF/DALFのレベルに対応しています。また、実用フランス語技能検定(仏検)準備にも最適です。

TV5MONDEでは、フランス語のTVを24時間ライブ放送とビデオで視聴できます。

映画、ドラマ、ドキュメンタリー、ニュース、ライフスタイル、音楽、スポーツ、アニメ等、一部日本語字幕付きで放送しています。

視聴方法: Windows PC/Macで今すぐ観るなら、日本サイトwww.tv5monde.com/japonにて、フルスクリーン高画質で24時間ライブ配信とビデオオンデマンド配信を行なっています。テレビで観るなら、ひかりTVにて24時間ライブ放送を行なっています。

詳細は:www.tv5monde.com/japon お問い合わせ: tv5japon@nifty.com



フランスで学ぶ

21世紀に入り、国際的な経験はますます評価されるようになっていきます。いまこそ、フランスで勉強してみてもはどうでしょう。単に忘れがたい時間を過ごせるというだけでなく、人とは違う知識を得ることができるはずです。

フランス語が本格的に身につく、豊かな文化と出会えるのはもちろん、新たな働き方、考え方、学び方、生き方までも自分のものにできるでしょう。

フランスでの学習

フランスが受け入れる留学生の数は、アメリカ、イギリスに次いで世界第3位、その数は260,000人余り、全学生の12%に達しています。

多様な教育システム

長い伝統を誇るフランスの高等教育は、フランス全土にある3,500以上もの国立・私立の教育機関や国際的に知られた研究機関から成っています。その内、83が総合大学、約200がエンジニア養成校、約200がビジネス・スクール、120が美術学校、20が建築学校です。

授業料は安く、レベルは高い教育

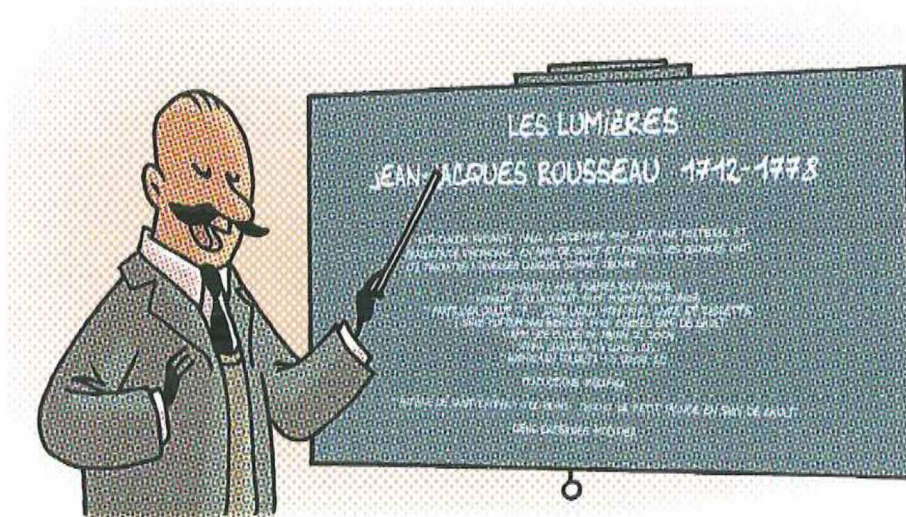
フランスは、その教育システムの主要部分を成す公立機関の学費が平均年間170～550ユーロであり、学費が最も低廉な国の一つです。実際にかかる費用（学生1人当たり8,000～14,000ユーロ）を国家が補助し、負担しているためです。フランスでは、入学条件、取得できる資格や学位、学費に関して、フランス人学生と外国人学生の間にはどんな差別もありません。

フランスでの学生生活

学生は日常生活のさまざまな場面で割引きを受けることができます。医療施設、公共交通機関、住居手当、学生食堂、文化施設やスポーツ施設などを優先的に利用でき、豊かな学生生活を送ることができます。

ヨーロッパの中核

フランスは9カ国と国境を接しており、ヨーロッパの国々を訪れる上で理想的な地理環境にあります。フランスを起点にすれば、アムステルダム、ロンドン、ベルリン、ブリュッセル、バルセロナ、ミュンヘン、ミラノなどの大都市へ出かけるのは容易で、週末や休日を活用してヨーロッパの近隣諸国を旅することもできます。



高等教育機関



総合大学

英米の場合とは異なり、フランスの大学はほとんどすべて国立です。1257年創立のソルボンヌ大学から最先端技術を誇るニースのソフィア・アンチポリスまで、フランス全国には83校の国立大学があり、そのほとんどが、もっぱら国費によって経営されています。



グランゼコール

グランゼコールは他の国には見られない、フランス独自のシステムであり、選抜試験を経た優秀な学生たちが高度の教育を受ける教育機関です。

主なグランゼコールには、大学教師や研究者を養成するÉcole Normale Supérieure（高等師範学校）、École Polytechnique（エコール・ポリテクニク）などのエンジニア養成校、HECやESSECなどのビジネス・スクール、またパリ政治学院（通称シアンスポ）や国立行政学院（ENA）などがあります。

グランゼコールを修了した者は、バカロレア+5年と同等、修士相当の資格を取得できます。



エンジニア養成校

フランス全国におよそ200あるエンジニア養成校を修了すると、修士レベルに相当する質の高いエンジニア資格を取得できます。これらの学校は、工学分野のあらゆる部門をカバーしています。



専門分野の教育機関

建築学校は、ヨーロッパ共通のLMD（licence, master, doctorat；学士、修士、博士）システムに基づいています。

高等美術学校・高等応用美術学校などの公立高等教育機関では、3年から5年の課程の後に、国家資格を取得することができます。総合的に美術を学んだ後、造形美術、デザイン、ビジュアル・コミュニケーションの3分野で専門性を深めていきます。

大学のシステム

フランスの学位・資格について

フランス高等教育の学位・資格は、ヨーロッパ共通のLMDシステムに従って構成されており、取得するには、高等教育機関に入学した時点からの、履修年数や学期数が考慮されます。

まずフランス語を学んでから留学しましょう

EU域外の学生がフランスの大学の学士課程1・2年次、または建築学校に留学する場合は、DAP (Demande d'Admission Préalable「予備登録手続き」) という特別枠で申請する必要があります。その際、フランス語力を証明する書類を提出します (TCF-DAP、TEF、DELFI/DALFなど)。

▶ 学士課程3年次、修士課程、博士課程に留学する場合、必要なフランス語能力を有しているかの判断は各教育機関によって行われます。

▶ 英語で授業が行われるプログラムに登録する場合も、一定レベルのフランス語能力を求められることがあります。

奨学金について

フランス政府留学局の新しい奨学金検索エンジンCampusBourse (<http://www.campusfrance.org>からアクセス) では、学生や研究者が応募することができる各種奨学金をフランス語もしくは英語で検索することができます。

学位	バカロレア* 取得後
博士課程	8~9年
修士課程 M1・M2	5年
学士課程 L1・L2・L3	3年

中等教育修了バカロレア
(大学入学資格を兼ねる)

*Baccalauréat(バカロレア)
後期中等教育修了認定の国家試験。

在日フランス大使館の一部門であるフランス政府留学局CampusFranceは、フランスの高等教育への留学を考えているすべての人をサポートし、情報を提供します。また、留学に関する質問も受け付けます。当局サイトの「お問い合わせフォーマット」に必要事項と相談内容を記入して送信下さい。

CEF(Centre pour les Etudes en France)という新オンライン応募システム

2010年1月1日から導入されたCEFは、3ヵ月以上の フランス留学を希望するすべての人に適用されるオンライン応募システムです。これまでと違い、CampusFranceが共通の窓口となって応募書類をオンライン作成することで、一度に複数の教育機関に応募申請することが可能になりました。オンライン・アカウントにアクセスすることで、応募申請から受け入れ決定に至るまでの進行状況をリアルタイムで知ることができるほか、アカウントのメール・ボックスからCampusFranceの相談員に質問を送信することができます。

オンライン応募システムCEFについての
詳細・お問い合わせは、
web: <http://www.japon.campusfrance.org>



語学留学

語学留学、それはあらゆることを同時に学ぶことです。これまで知らなかった文化に触れ、言葉のシャワーを浴び、そこから自分を再発見することにもつながっていきます。街路で、パン屋で、マルシェ（市場）で、あるいはパーティで交わされる生きたフランス語。時間が経つにつれ、フランス語が日常的な音楽として、慣れ親しんだものになっていくでしょう。

さまざま選択肢

日本の多くの中高等教育機関が、フランス各地への短期または長期の留学を提案しています。フランス留学を履修課程に組み込むことができる場合もあります。夏休み中や春休み中の海外研修をカリキュラムに組み込んでいる大学もあります。そうしたシステムのメリットは、事前学習で十分に準備したのちに現地で学べることです。安全に海外生活を体験でき、卒業単位として認定されるのですから一石二鳥といえます。たとえそのような制度がなくとも、大学によっては個人留学で取得した単位を認定してくれる場合もあるので、所属する大学の事務室で相談してみるとよいでしょう。

留学相談のプロ：語学留学ビューロー（BSL）

東京日仏学院の語学留学ビューローは、フランスの数ある語学学校のなかでも特に評価の高い学校だけを提携校としてリストアップしています。語学留学ビューローはみなさんのさまざまな疑問に答えます。「自分が特に学習したいテーマや、滞在予定期間、予算に見合う語学学校はどこだろうか?」「どの地方を選んだらいいのだろうか?」「自分の滞在プランに最適のホームステイ先や宿泊施設を見つけるには?」「行政面での手続きや、社会保障の疑問をどうやって解決したらいいのだろうか?」— 東京日仏学院の語学留学ビューローなら、余計な費用をかけず、滞在計画の細かな疑問にいたるまで、じっくり一緒に考えてくれます。

お問い合わせは、東京日仏学院語学留学ビューローまで
e-mail: ryugaku@institut.jp
web: <http://www.institut.jp/ja/apprendre/enfrance>





Daiki - バリ

大学の夏季休暇をパリでの語学留学に充てました。学校は日本と違った積極的な参加型の授業で、生徒はわからない単語があったり自分の作る文章に納得がいかないと細かく先生に聞いたり、活発な雰囲気でした。学校は非常に国際的で、自分たちの国や文化を教えあう場所でもあり、クラスメートとは美術館やサッカー観戦と、語学はもちろん、普段味わえないフランスの文化を満喫できました。クラスメートと再会したらもっと流暢にしゃべれるようになりたいと、帰国後のフランス語習得のモチベーションアップにもつながりました。

Mie - プレスト

妖精が住んでいるのではと思ってしまう程美しい土地、プレスト。荒々しい海の風景、ダンスや歌や料理など先祖代々のケルト文化を綿々と受け継ぐこの土地の人々に魅せられながら、あっという間に過ぎた3週間でした。日本では漫然と過ごしていても周囲がレールを用意してくれていましたが、フランスではそうはいかないことを思い知りました。空気を読めという日本での日々が嘘のよう、周りと違うことにも躊躇しなくなりました。この留学で見つけた「私のやりたいこと」。2010年の夏から1年間、私はフランスの大学に留学します。

Yu - バリ

大学院でフランスの宗教史を研究していることから、カトリック系大学の語学学校を選びました。将来の留学に備え語学力を鍛えるのが目的でしたが、それ以上にかげがえのない財産が人との出会いでした。9月の集中講座は世界各国の神学生や修道女志願者が三分の一を占め、学びへの意欲が高い彼らから刺激を受けました。そこで親しくなった学生をきっかけに、巡りめぐってカトリック系大学の教授と出会い、長期留学の受入許可につながりました。短い夏の語学留学は、その二年後に実現する留学への大きな一歩となりました。

Mayu - モンペリエ

モンペリエでの語学留学は、午前中が文法や聞き取りなどの内容が中心で、午後はディスカッションや課外活動や観光ツアーなどプログラムが充実していました。モンペリエはスペインをはじめヨーロッパ圏の色々な国から留学生が集まっているので、国際色豊かな交流と、海や動物園、映画とレジャーも充実しているところがとても魅力です。最初の一週間は慣れないことが多くても、いつの間にかフランス語も自然と話せるようになっていました。ホームステイ先の家族もとても親切で、友達たちとは今でもメールしたりしています。



日仏学院 (東京・横浜)



関西日仏学院



九州日仏学館



アリアンス・フランセーズ



CAMPUS FRANCE
campusfrance.org JAPAN

フランス政府留学局日本支局



日仏会館



日本フランス語教育学会



日本フランス語フランス文学会



フランス語教育振興協会



仏検1級合格者の会



日仏高等学校ネットワーク

制作

編集責任

マキシム・ピエール (在日フランス大使館、言語担当官)

編集委員

ジョナタン・ポーリュ (在日フランス大使館)、澤田直 (立教大学)、
堀茂樹 (慶應義塾大学)、三浦信孝 (中央大学)

執筆協力

ロラン・ヴェルガン (大阪日仏センター=アリアンス・フランセーズ)、パスカル・エストラード (東京日仏学院)、ジェレミ・エルヴェ (在日フランス大使館)、小山翼 (APEF)、ジョゼマリ・コルテス (アリアンス・フランセーズ愛知フランス協会)、シルヴァン・サンソン (CampusFrance)、橘木芳徳 (元暁星高校、Colibri)

編集協力

粟野みゆき (ALFI)、鈴木美登里 (白水社)

レイアウト

アントワーヌ・ペラン

イラスト

Yuio

(あいうえお順)



Liberté • Égalité • Fraternité

RÉPUBLIQUE FRANÇAISE

在日フランス大使館

〒106-8514 東京都港区南麻布4-11-44
電話 03-5798-6000 FAX 03-5798-6026
www.ambafrance-jp.org